

令和８年度 第１回社会教育委員会議 会議録

日 時		令和８年７月１６日(木) １０時から
場 所		河合町立公民館 ３階 研修室Ｃ
出席者	委 員	【出 席】１５／１５名
	教育長 事務局	【出 席】 ９名
会議次第		１．開会 ２．教育長あいさつ ３．委嘱式 ４．議長・副議長選出 ５．議事（進行は議長） （１）令和７年度 社会教育事業実施報告について （２）その他 ６．閉会
会議録 （要旨） （敬称略）		○開会 ・事務局から開会あいさつ ○教育長あいさつ ○委嘱式 ○議長・副議長選出 ・互選により議長・副議長を選出 ○議事（進行は議長） （１）令和７年度 社会教育事業実施報告について ○事務局：《資料に沿って説明 １頁町民大学～９頁公民館管理運営》 ○遺跡学セミナーについて ・委 員：定員２０名に対して４名受講となっていますが、開催されたのでしょうか。 ・事務局：４名で実施しました。少人数であったことから詳しく受講できたとの感想もいただき、満足度は高かったと考えています。 ・委 員：そのような場合、例えば定員の過半数に満たなければ開催しない場合が多いと思います。なぜ開催したのかと思って伺いました。 ○郷土を学ぶ会について

- ・ 委 員：事務局より説明された郷土を学ぶ会の事業報告について、史跡案内がありました。但し、当会から分離した観光ボランティアガイドの会が馬見丘陵公園や大塚山古墳、広瀬神社などのガイドをされています。ですので、当会として史跡案内はしていません。

○各事業の決算額について

- ・ 委 員：全般的にですが、決算額の内訳について主にどのような支出だったのか、少しでもいいので資料に記載していただきたいと思います。
- ・ 委 員：詳細に記載するのは難しいと思いますが、事務局として何か工夫していただけますか。
- ・ 事務局：例えば、町民大学の決算額は細かい数字を積み上げたものですが、令和6年度公民館管理運営費であれば、町立公民館オープンに伴う費用が含まれています。今後、高額な支出等については大まかな内訳の記載を検討します。
- ・ 委 員：講座であれば、例えば「講師料」程度の記載でいいので検討してください。
- ・ 委 員：紙面の都合などもあるかと思いますが、よろしくお願いします。

○町民大学パンフレットについて

- ・ 委 員：令和6年度決算額が約4万円、令和7年度決算額が約13万円で3倍ほどになっていますが、作成部数やページ増加などの理由がありますか。
- ・ 事務局：毎年、この予算は年度末に執行し、次年度のパンフレットを作成しています。令和7年度は、4月の町立公民館オープンに伴って、例年6月に一斉開講している町民大学を6月開講と9月開講の二期に分けました。このため、令和6年度末に作成した令和7年6月開講分のパンフレットはページ数が少なく、約4万円で作成しました。年度が変わり、9月開講分のパンフレットを令和7年度予算で作成し、続いて年度末に令和8年度のパンフレットを作成したため、令和7年度の決算額は2回分で約13万円となっています。

○かわい寺子屋教室について

- ・ 委 員：令和7年度は応募が少なく未開講との報告がありましたが、それを受けて令和8年度の実施にあたり何か工夫をされましたか。
- ・ 事務局：前年度の未開講を踏まえ、受講料を1万3千円から7千円に下げ、回数も全6回から全4回に変更しました。前年度は定員25名に対して応募が5名でしたが、今回は11名の応募があり6月から実施しています。この事業に関して、引き続き住民に関心を持っていただけるよう分析を続けていきたいと考えます。
- ・ 委 員：受講料は1回で7千円ですか。
- ・ 事務局：4回で7千円です。

○学校支援地域本部事業（図書読み聞かせ）について

- ・ 委 員：学校では、こういった形で実施していますか。
- ・ 事務局：令和7年度は、第一小学校では二～三学期に計4回、第二小学校では学年別に実施されています。

○学校支援地域本部事業（すな丸未来塾）について

- ・ 委 員：参加している児童と支援員（ボランティア）の人数を教えてください。
- ・ 事務局：令和7年度は、第一小学校では参加児童9名、支援員6名です。また、第二小学校では参加児童12名、支援員8名です。

○学校支援地域本部事業（全体）について

- ・ 委 員：ボランティアは基本的に無償かと思いますが、近年交通費や手当を支給している自治体もあるようです。河合町の状況を教えてください。
- ・ 事務局：ボランティアの活動保険は生涯学習課の予算で加入しています。また、学習を支援する「すな丸未来塾」に関しては有償ボランティアとなっており、その他の取組については基本無償で活動していただいています。

○予算額と決算額について

- ・ 委 員：いくつかの事業で、令和7年度の予算額と決算額が同額となっています。一般的に考えて、ちょうどの額を執行するのは難しいかと思いますがどのように処理されていますか。
- ・ 事務局：事業によっては、予算作成時期の見積徴取により金額を把握できているものがあります。その場合は、予算額と決算額が一致することがあります。
また記載している予算額は、年度途中で予算の不足が生じた場合の予算流用による増減なども経た現計予算額です。このため、決算額と同じになっている事業があります。
- ・ 事務局：各種団体の補助金であれば千円単位で記載していますが、事業によっては千円未満の金額の積み上げによって、細かい金額を記載しているものがあります。

○学童保育について

- ・ 委 員：学童保育の取組は資料のどこに掲載されていますか。
- ・ 事務局：学童保育は「子育て健康課」の所管事業で社会教育事業ではありませんので、本会議の報告案件には含まれていません。
- ・ 委 員：連携は取っていますか。
- ・ 事務局：「すな丸未来塾」で宿題や勉強をして、その後に学童保育を利用されている児童もいます。

○P T A 連合会の運営費について

- ・ 委 員：令和７年度は会費等で運営できたため、町補助金の申請はしなかったとなっています。今年度についてはどのように考えていますか。
- ・ 委 員：各校ＰＴＡが実施する家庭教育講演会の講師料として、ＰＴＡ連合会から支出する予定でしたが、一小は企業による無償出前教室（スマホやネットリテラシー）を活用しました。二小は助産師による性教育の講演会を実施されており、謝金を支払っています。一中は日程などが合わず未実施となっています。二中については、助産師を講師に迎えた「いのち」に関する講演会を実施されており、謝金を支払っています。
基本的に、町からの補助金は消耗品にしか使えないと聞いています。継続的に使えるパソコンやプリンターの購入に充てたいと思っていますが、使えないとのこと。また食べ物にも使えないと聞いています。そうすると、何に使えばいいのかとＰＴＡ連合会では考えています。消耗品の購入に充てる場合は、児童生徒が使うネッククーラーや冷感タオルなどの配布を検討しています。ただ、教育委員会でも同様のことを検討されているようですので、協議していきたいと考えています。
- ・ 委 員：家庭教育講演会は、町から実施を依頼しているのではないのでしょうか。
- ・ 事務局：各校ＰＴＡで実施を計画されており、それに伴う講師料をＰＴＡ連合会から助成するというものです。令和７年度、ＰＴＡ連合会から町に補助金の申請がなかった理由ですが、町が予算計上している９万６千円を超える額の繰越金があるため、まずはそちらから執行していただくことになりました。もし年度途中で不足が生じた場合には町補助金を申請されるよう、昨年度のＰＴＡ連合会役員の方と確認をしました。
- ・ 委 員：消耗品しか補助対象経費にならないという話とは関係ないのでしょうか。
- ・ 事務局：補助金を充てて購入できる消耗品ですが、単年度で使用する物と説明しています。このため、パソコンなどの年度をまたいだ使用が想定されるものには充てられません。
ＰＴＡ連合会の会長は、毎年各校ＰＴＡで持ち回りをされており、引き継ぎが難しい部分もあると思います。担当課としても、連携を密にして仕組みを理解していただけるようにします。

○事務局：《資料に沿って説明 １０頁文化財保存～１５頁スポーツ教室》

○図書館・まほろばホールの事業について

- ・ 委 員：まほろばホールが休館していることに伴って、かるた大会やブックリサイクル、またコンサートなどが中止になっていますが、令和８年度はどのように計画していますか。
- ・ 事務局：１月は図書館が休館していたため、かるた大会や百人一首を実施しませんでした。令和８年度は実施する予定です。
これまでブックリサイクルはまほろばホールで実施していましたが、令和８年度は秋の文化祭・産直市にあわせて図書館で実施する予定です。

人形劇のつどいに関しては人形劇団「あおむし」が解散されたため、令和 8 年度の開催予定はありません。その代替事業として、図書館において講演会を計画しています。内容については、防犯・防災や認知症、また郷土の河合町に関する皆さんの関心が高いものを考えており、現時点では社会福祉協議会と連携して、11 月に認知症に関する内容を検討しています。

○子どもランニング教室について

・ 委 員：市町村対抗子ども駅伝で、河合町がさらに強くなってほしいと思っています。子どもランニング教室と駅伝出場メンバーは同じですか。また、人材集めの工夫や、より強いチームを作るために取り組んでいることはありますか。

・ 事務局：ランニング教室に参加した児童が、そのまますべて駅伝メンバーになるということではありません。何人かが駅伝に興味を持ち、出場しているという状況です。

また、ランニング教室とは別にランニングクラブがあり、クラブに参加している児童が教室に参加することもあります。

ランニング教室は、走り方を覚えて楽しく速く走ることをモットーに開催しており、運動会などで速く走れるように参加している児童もいます。

人気のある教室ですので、参加枠を増やしていきたいと考えています。

子ども駅伝に関しては、12 月開催の町民マラソン大会での上位者にも声を掛け、さらに各小学校にも声を掛けて出場者を募っています。河合町は前回「町の部」で優勝を果たしましたので、今回は「総合の部」で市に負けないような成績を収められるよう、取組を進めていきます。

○まほろばホールの休館について

・ 委 員：まほろばホールは現在休館していますが、このままずっと休館なのか、あるいは今後再開する目途はあるのか、そのあたりを教えてください。というのも、まほろばホールが休館していることで、音楽関係や老人クラブのカラオケ大会など、色々な行事が未実施となっています。上牧町では以前ペガサスホールが休館しましたが、その後再開しています。まほろばホールの場合“再開を目指して休館している”のか“廃止するために休館している”のかで、大きな違いがあると思います。やはり“再開のための休館”であってほしいと考えています。

・ 事務局：まほろばホールについては、消防設備の不具合があり消防からの指導を受けて今年 1 月から休館しています。そして、今後は町全体で他の公共施設も含めた方向性を検討していきたいと考えています。

・ 委 員：まほろばホールのことで、先日の定例議会で町長が“政治生命を懸ける”と言われていたので、それを期待しています。

今月、郷土を学ぶ会主催の講演会を開催しますが、現時点で約 160 名

の参加申し込みをいただいています。会場はこの部屋（町立公民館 研修室C）で、どのようにすれば160名入室できるか苦慮しています。まほろばホールであれば、問題なく開催できるのですが。また、8月にも講演会の開催を予定していますが、同じく会場はこの部屋です。早期のまほろばホール再開を願っています。

○町民体育大会について

- ・委員：町民体育大会は、コロナ禍の影響もあってなくなりましたが、復活することないでしょうか。経費も掛かるとは思いますが、規模の大小を問わず開催できないものか、考えがあれば教えてください。
- ・事務局：町民体育大会に関しては、大字・自治会から“人数が集まらない”など色々な意見をいただいていた。そしてコロナ禍もあり、中止して数年が経過しています。それに代わる事業の検討を進め、令和7年度は町民マラソン大会の規模を拡大しました。以前は参加者が約100名でしたが、拡大したことで約300名の参加がありました。
令和8年度についても、600名の参加を目指して取組を進めています。さらに、マラソンだけでなく食関連の事業も交えたいと考えています。

（2）その他

○事務局からの案内

- ・事務局：河合町人権教育推進協議会 人権学習講座について（参加案内）
奈良県人権教育推進協議会 平和・解放教育講演会について（参加案内）

○閉会

